

大学コンソーシアムやまがた「最上川教育プログラム」形成に向けて

森里川海をつなぐ暮らしづくり地域づくり ミニシンポジウム



NPO法人里の自然文化共育研究所
山形大学大学連携推進室 出川真也

最上川とは

□ 最上川流域環境の特徴

- ・ 最上川流域の生態系は、原生自然だけではなく、流域に暮らす人々の森里川海産業とともに改変され、維持されている。流域の自然や文化は農山漁村住民の暮らしの営みと織りなしあいながら形成されている。

最上川学とは

- ・最上川学とは、最上川流域の自然と文化、農山漁村に暮らしてきた人々の知恵と技術から学ぶことを通して、それを革新的に受け継ぎ**21**世紀に生かすべく新たな暮らしや産業のスタイルや生存環境の在り方を模索すること。
- ・地元農山漁村住民と協働連携しながら対等に運営される形で、共に学ぶ活動を展開し、調査研究を行いたい。
- ・学の担い手は、大学・研究者だけでなく、地元住民や関係する外部の一般の方々など多くの主体に面的に広げられる開かれたものとして設計していきたい。

最上川学運営エリア構想イメージ（連携NPO・地域活動団体位置図）



各地域活動団体や中間支援NPOと連携協働しながら最上川学の運営と活動を進めていきます。



● 関川しな織の里協同組合

青：山形大学関係機関
赤：地域活動団体
黄：中間支援NPO

ポイント 38°49'52.04"N 139°59'52.74"E 高度 76 m

Image NASA
Image © 2008 TerraMetrics
© 2008 Europa Technologies
© 2008 ZENRIN
ストリーミング 100%

© 2007 Google™

上空 35.23 km

地域のこれまでの学習教育活動

□ 最上地方

- ・ 戸沢村角川 角川里の自然環境学校の活動
- ・ 金山町田茂沢 田茂沢道草ぶんこうの活動
- ・ 最上町満沢 山村留学活動と地元学学習会の取り組み
- ・ 鮭川村観音寺 地元学学習会の取り組み
- ・ 舟形町長沢等 地元学学習会と地域ぐるみの教育旅行受入れ
- ・ 新庄市山屋 地元学学習会の取り組み

□ 庄内地方

- ・ 酒田市中野俣 地元学と地域団体中野俣を元気にする会の結成
- ・ 酒田市飛島 地元学学習会と山村との郷土料理交流、物々交換経済構築
- ・ 庄内町立谷沢・清川 子ども達と共に行う地元学と、地域づくり学習会
- ・ 鶴岡市松ヶ岡 松ヶ岡ネットによる地元学学習会と実践研修の実施
- ・ 鶴岡市三瀬 地域案内人による森里川海をつなぐ学習ツアーの実施
- ・ 鶴岡市関川 しな織協同組合による伝統工芸交流学習

その他相互にかかわりを持つ活動団体多数が「最上川流域」から学びながら
取り組みを継続中

月川里の自然環境学校・

山村資源と山村の日常の暮らしを生かして、ふるさと学習活動による人材育成、産品開発、ツーリズムを開発し実践。



田茂沢道草ぶんこう







三瀬～海辺の集落の地元学と自然文化交流～

山村の高校生が海辺の森林ボランティア活動



海辺の地元学を
実施！



山村の住民と海辺の
住民が食文化交流会
を実施











中野侯を元気にする会の発足







庄内町立谷沢・清川





最上町満沢山村留学



松ヶ岡

地元学学習会の実施



森と海の宝地域の力に

戸沢村角川地区の住民が九、十の両日、酒田市飛島を訪れ、法本地区の住民と交流した。『森』の角川と『海』の飛島の住民同士が、互いの『宝』を探し出し、地域活性化の足掛かりにしようとの試み。初の交流となった今回は、互いに郷土料理を出し合い、味わうとともに、意見を交換した。

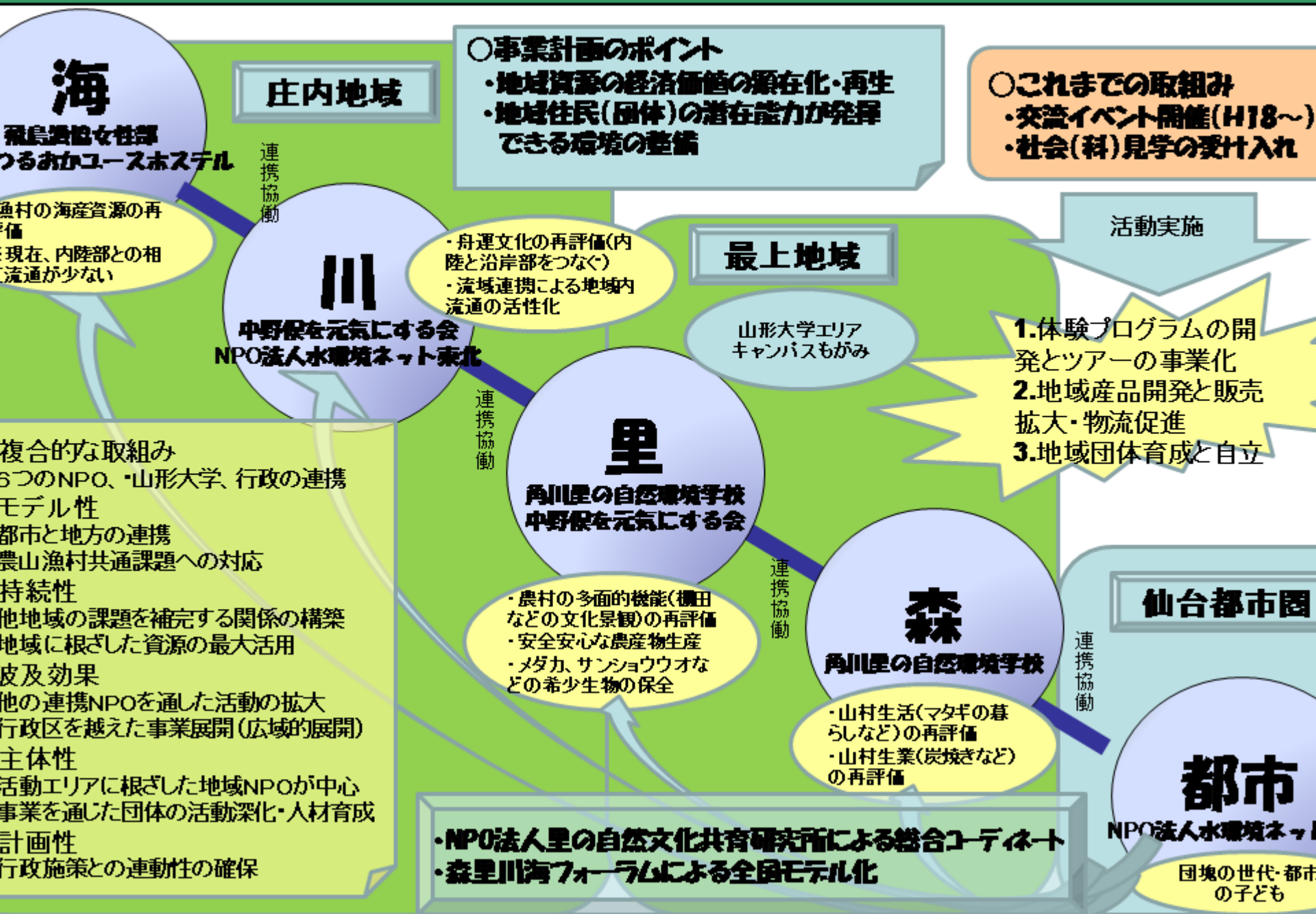
角川地区の自然環境学習グループ「角川里の自然環境学校」（斎藤久一代表）では、住民が「里の先生」となり、地元の文化や伝統などを次世代に伝えている。二〇〇六年からは同学校の研究部が、活動に広がりと深みを持たせようと、他地域に出掛けて調査活動を行っており、去年、メンバーが飛島に行つて県漁業協同組合飛島支所女性部（斎藤栄子部長）と交流。その後、今回の話がまとまった。



郷土料理出し合い、意見交換

交流活動には、同
 学校研究部 年
 た特定 利 法
 ○法人「里 然
 研究所」(大 理
 同女性部 関 約
 参加。 会 開
 理 会、
 た民 主 物
 とき の 業 料
 たい 対し、 島側
 の 稼働 や エ
 と 露 した。
 島では 間
 した 焼 干
 化 産 品 が 調 理
 な 成 分 不 足
 いた 山 白 灰 の
 名。そ 日
 の 郷 土 料 理 を 楽 し み な が ら
 各 々 の 郷 土 料 理 を 楽 し み な が ら
 利用 し て も つ づ き
 と、 四 十 五 分
 里 の 然 文 化 資
 出 川 真 実 務 所 は
 が 一 緒 に な る 可
 れ る 力 に 可 能 を 感
 業 化 に 向 け、 魚 川 の
 島 の 魚 を 用 い た レ シ
 して は ど う か と い っ
 ア が 出 て い た と 話

森・里・川・海・都市をつなぐ地域づくりーふるさと資源による暮らし再生プロジェクトー
(山形県最上地方・庄内地方)ーNPO法人里の自然文化共育研究所 他6団体ー



最上川学09年度の予定

- 最上川巡検
- 最上川俯瞰講義
- 最上川学フォーラムの開催（2回）
- 最上川講座（全5回）
（1泊2日程度5回）
- 最上川学講座（地元から学ぶ講座）全5回
（2泊3日程度5回）

地元に学びながら地元の方と育む教育プログラム作りと
地域づくりへ